

地域再生計画（地方創生道整備交付金）中間評価調書

都道府県名	大分県	事業実施主体	大分県、大分市	地域再生計画名	「安全・安心・健康」いやしの里づくり計画
計画期間	平成27年度～平成30年度	評価責任者	大分県農林水産部農村基盤整備課長 東光一孝、大分市土木建築部道路建設課長 朝野 裕人		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度		年度	中間実績	基準年度				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	都市近郊農業の振興・地域経済の活性化による定住人口の維持	0.6%	H26	0.6%	H28	0.5%	0.0%	H30	○	広域農道及び市道の整備による効果により、都市部へのアクセス等が改善され、目標値を概ね達成できる見込みである。
	指標 2	大分市吉野集落への緊急車両の到達時間短縮	20分	H26	20分	H28	20分	9分	H30	○	広域農道及び市道の整備による効果により、大分市吉野集落へのアクセスが改善され、目標値を概ね達成できる見込みである。
	指標 3	緊急輸送道路の通行不能時における大分市吉野原から広域防災拠点への迂回路の複線化及び輸送時間短縮	40分	H26	40分	H28	40分	15分	H30	○	広域農道及び市道の整備による効果により、大分市吉野原から広域防災拠点へのアクセスが改善され、目標値を概ね達成できる見込みである。
	指標 4	大南地区の認定農業者数	31経営体	H26	32経営体	H28	32経営体	33経営体	H30	○	広域農道及び市道の整備による効果により、広域道路ネットワークを構築し、物流の円滑化が図られることで、大南地区の農業が振興し、担い手の確保に繋がりが、認定農業者数の増加が見込まれる。
	指標 5	大南地区のGAP実践農家数	5戸	H26	6戸	H28	5戸	7戸	H30	△	広域農道及び市道の整備による効果により、広域道路ネットワークを構築し、物流の円滑化が図られることで、大南地区の農業が振興し、担い手の確保に繋がりが、GAP実践農家数の増加が見込まれる。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1	—									
	指標 2	—									
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
			計画	中間年度(H28)	最終実績見込み						
特別措置を適用して行う事業	広域農園団地農道整備事業		1.5km	0.2km	1.5km	本事業においては、円滑に整備が進んでおり、農産物や農産加工品の流通効率化が図られる見込みである。さらに、波及効果として、都市部へのアクセスが改善され地域農業の担い手確保や定住人口の維持が期待される。					
	市道整備事業		3.9km	1.5km	3.9km	傷んだ舗装を修繕することにより、物流ルート相互間の到達時間の短縮が見込まれる。					
その他の事業	該当無し		—			—					
計画外で独自に実施した事業	県道臼杵大南線		臼杵市と豊後大野市から大分市中心部へのアクセス強化を図るための整備を実施			大南地区の吉野校区と戸次校区を結ぶ「県道臼杵大南線」の整備を行うことで、臼杵市や豊後大野市から大分市中心部までのアクセス改善が図れ、隣接市との広域交流と連携が図れる。					
	市道楠木生川床線(戸次工区)現道拡幅事業		戸次本町へのアクセス向上のため、バイパス道路の整備を実施			本路線の整備により、広域農道大南野津地区から県道坂ノ市中戸次線を經由して国道10号までのネットワークを構築することが可能となり、地域農産物を中心とした物流の効率化が見込まれる。					
	農業水利施設保全合理化事業「昭和井路2期」地区		大分市東部地域の受益を潤す、幹線水路の長寿命化対策工事を実施			老朽化した農業水利施設の対策工事を行うことで、施設の保全と事故防止につながり、受益地へ用水の安定した供給が見込まれる。					
	農地中間管理事業		担い手等への農地集積をすすめ、農用地利用の効率化及び高度化を促進			担い手等への農地集積をすすめることにより、農地利用の効率化が見込まれる。					
	戸次本町まちづくり協定		伝統的な町並みと生活文化遺産の保全を目的に活動を行う			住環境の整備や地区内の清掃、「よいやかがり火」祭りなどを開催し、地区内外の住民と交流型の活動を行い、かつて栄えた戸次本町の再生と市(いち)のにぎわいの復活を目指している。					
④評価方法	関係機関より中間目標値の実現状況について調査を行い、関係部局と評価・検討等を行った。										
⑤中間評価の公表方法	大分県及び大分市のホームページに掲載										
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した農道整備と市道整備を一体的に実施し、農道整備では安全・安心な農産物の生産振興と6次産業化の推進に弾みを付け、農産物の消費拡大や地域農業の担い手の確保につながると考えている。市道整備では地域住民の命と暮らしを守る緊急車両の到達時間の短縮や自然災害に備えるなど、地域の安全性・強靱性が高まると考えている。また、広域的な視点においては、広域道路ネットワークの構築によって、隣接する大分市中心部、臼杵市、豊後大野市との広域交流と連携が拡大されることとなる。										
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、円滑に整備が進んでおり、地域経済の活性化と定住の促進等も含め目標のほぼ達成が見込まれる。このため、引き続き本地域再生計画に沿って事業を推進していきたい。										